



フィールズ株式会社

証券コード：2767

2018年3月期

株主通信(中間)

2017.4.1 → 2017.9.30



当社の情報は下記ウェブサイトからもご覧いただけます。

<http://www.fields.biz/ir/j/>

フィールズ IR

検索

Topics トピックス

パチンコ・パチスロ事業プラットフォーム

優良IPを採用したパチンコ・パチスロ機を全国のホールに提供！

パチンコ・パチスロ市場では、2014年に実施されたパチスロ機の型式試験方法変更に伴って端を発した規制等の変更が相次ぎ、また、2018年2月には「風適法施行規則改正」※1の施行が予定されています。当社グループは、こうした市場環境の変化に動じない事業構造構築のため、年間を通して安定的に商品を提供する取り組みを進めており、下半期も商品力のあるタイトルを含むパチンコ・パチスロ機の販売を予定しています。

2017年 10月 パチンコ『CRエヴァンゲリオン2018年モデル』導入

2018年 1月 『パチスロ BLACK LAGOON3』導入予定

CRエヴァンゲリオン
2018年モデル



© カラー © Blisty

パチスロ
BLACK LAGOON3



©2006, 2010 広江礼威・小学館/
BLACK LAGOON製作委員会
©EVANGELION

クロスメディア事業プラットフォーム

オリジナルIP※2を含む複数の映像作品を続々と公開！

当社グループは、当上半期に、コミック誌「月刊ヒーローズ」で連載中の『アトムザ・ビギニング』や、ウルトラマンシリーズ最新作『ウルトラマンジード』など、5つの映像作品を放送・公開しました。また、10月からは当社グループのデジタル・フロンティアが3DCG制作を担当したタツノコプロ創立55周年記念作品『Infini-T Force』のTVアニメ放送がスタートしました。さらに今後も、当社共同原作の『BEATLESS』や、「月刊ヒーローズ」で連載中の『キリングバイツ』、豪華クリエイター陣によって制作された『ダーリン・イン・ザ・フランキス』のTVアニメ化など、複数の映像作品が続々と公開予定となっています。

▼ 今後公開予定の映像作品

2018年 1月 TVアニメ『BEATLESS』放送開始予定

2018年 1月 TVアニメ『キリングバイツ』放送開始予定

2018年 1月 TVアニメ『ダーリン・イン・ザ・フランキス』放送開始予定

2018年 2月 フルCGリアルSF映画『スターシップ・トゥルーパーズ レッドプラネット』公開予定

2018年 2月 劇場版『Infini-T Force』公開予定

2018年 春 アニメ『ソードガイ The Animation』Netflixにて世界同時配信予定

キリングバイツ



© 村田真徳・梶田かずあさ・HERO'S/
キリングバイツ製作委員会

BEATLESS



©2018 長谷敏司・redjuice・monochrom/
KADOKAWA/BEATLESS製作委員会

※1 2018年2月1日施行「風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律施行規則」及び「遊技機の認定及び型式の検定等に関する規則の一部を改正する規則」

※2 IP (Intellectual Property) = 知的財産



すべての人に最高の余暇を The Greatest Leisure for All People

代表取締役会長 (CEO)

山本 英俊

(やまもと ひでとし)

株主の皆様には、平素より格別のご支援ご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。また、当社グループが大きな変革期を迎えるにあたって、当期より1,000名を超える新しい株主の皆様のご参加を賜り、ご期待の大きさに身の引き締まる思いを新たにするとともに、そのお力添えに重ねて御礼を申し上げます。

現代社会では、驚異的なスピードで技術革新が進み、私たちの暮らしや余暇の過ごし方に大きな影響を及ぼしています。国内外での様々な動向も相まってエンタテインメント業界では、今まさにパラダイムシフトの時代に突入しようとしています。

国内においては少子化が進行する一方で、世界史の上で最初に誕生した高度高齢社会が豊かな成熟期を迎えようとしております。1,800兆円とされる我が国個人資産の多くを保有される高齢者の皆様は、プレミアムエイジの尊称と呼ばれ、上質で充実した余暇の時間に対して熱心な希求をお持ちの方々でもあります。

パチンコ・パチスロは、来年2月の新規則の施行を機に、こうした方々が豊かなライフスタイルの一環として安心して楽しめる新機軸のゲームとして生まれ変わってまいります。当社グループでは、都市部、地方の格差なく、あるべき高度高齢社会のライフスタイルの充実に貢献できる商品、サービスをご提供してまいります。

また、東京オリンピックをはじめ観光産業振興に対する国を挙げての取り組みは、外国人観光客による膨大なインバウンド需要を喚起しております。2010年には860万人余りだった外国人観光客は、昨年2,000万人を大きく

上回り、東京オリンピックが開催される2020年には4,000万人を超える予想されております。当社は、こうした伸び行くインバウンド需要にお応えするべく、パチンコ・パチスロはもとより多様なエンタテインメント分野で、グループ各社の総力を結集してクロスメディアに多面的な取り組みを展開いたします。

さらに、人口減社会でもある我が国とは正反対に、世界に目を転じれば現在の総人口は76億人を超え、2030年には86億人に達すると予測されています。そして、多くの国々・地域で今後段階的に成長期へと歩みを進め、広大なエンタテインメント需要を生み出していくものと期待されております。当社グループでは、新しいリーダーシップを確立した新生・円谷プロダクションなど全社が、世界に通用するコンテンツの創出に取り組んでおります。

今後につきましては、申し上げましたように我が国高齢社会市場、インバウンド需要、世界80億人マーケット、それぞれの余暇ニーズに貢献することを通じて、企業理念である「すべての人に最高の余暇を」の実現に邁進してまいります。

当社は、設立から約30年を迎える歴史において、過去に学び・未来を予見する中で打ち立てたビジョンに基づく様々な挑戦を続けてまいりました。新たな挑戦への道のりは始まったばかりではありますが、グループ企業を含め、役員・従業員一丸となり歩を進めてまいります。

株主の皆様におかれましては、引き続き倍旧のご指導とご鞭撻を賜りますよう、謹みましてお願い申し上げます。

2017年12月

将来像の実現に向けて

フィールズグループは、世界を元気にするヒーローIPを様々な顧客接点(事業プラットフォーム)を通じて提供することで日本全国の人々の喜びや幸せに貢献しさらにそのIPやプラットフォームを世界に広げていきます

代表取締役社長 (COO)

繁松 徹也

(しげまつ てつや)



株主の皆様には、平素より格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨今、当社を取り巻く事業環境は、創業来の事業領域であるパチンコ・パチスロ分野における相次ぐ規制等の実施、エンタテインメント業界全般における新たなテクノロジーやデバイスの登場などにより、急激な変化が起っています。このような中、当社グループでは事業環境の変化に動じない事業基盤の構築に向けて、当期を初年度とする3カ年中期経営計画を遂行しています。そして今後も、多くの人々を元気にするヒーローIPを、様々な事業プラットフォームを通じて、国内だけではなく多くの国や地域にお届けすることで、企業理念「すべての人に最高の余暇を」の実現に努めてまいります。

それでは、2018年3月期第2四半期の事業概況と、中期経営計画の進捗状況についてご説明いたします。

2018年3月期第2四半期決算の概況について

パチンコ・パチスロ事業においては、パチスロにおけるレギュレーション、いわゆる5.5号機の販売期限を2017年9月30日に迎えました。こうした状況のもと、当社グループはパチスロ機の拡販に注力しました。その施策として、大手メーカーとの新たなアライアンスや販売支援などを展開し、15機種を販売しました。また、2017年9月4日公布の「風適法施行規則改正」への対応

として、提携メーカーとラインアップの見直しなど、販売および開発戦略の再構築を進めました。

クロスメディア事業においては、エンタテインメント市場の世界的な拡大が続く中、当社グループは『ウルトラマンシリーズ』最新作など、5つのIPの映像展開を実施しました。また、国内外への映像配信と並行して、ゲームやグッズなどへのライセンス展開を進めました。さらに、下半期以降に公開・放送を予定している複数の映像作品についても諸施策を推進しました。加えて、コミック領域

通期連結業績予想

(単位:百万円)	2017年3月期実績	2018年3月期見通し	前年同期比	
			増減	増減率
売上高	76,668	82,000~85,000	+5,332~ 8,332	+7.0~10.9%
営業利益	△5,374	1,000~ 2,000	+6,374~ 7,374	—
経常利益	△9,068	0~ 2,000	+9,068~11,068	—
親会社株主に帰属する当期純利益	△12,483	0~ 1,000	+12,483~13,483	—

2018年3月期第2四半期決算の詳細はこちら ▶
<http://www.fields.biz/ir/j/library/result/>



では、電子書籍事業の強化に資する資本参加などを実施しました。

上記の活動は、概ね期初計画通りの進捗となっています。業績の詳細につきましてはP.6をご覧ください。

中期経営計画進捗状況

当社グループは、前述の通り、当期をスタートとする3カ年の中期経営計画を策定し、2020年3月期の業績目標として、売上高810～880億円、経常利益50～70億円の達成を目指しています。

当期におきましては、中長期的な収益力向上を主眼とした事業活動に注力しています。また、当社のDNAである市場の過去・未来を見据えた企画・プロデュース力のさらなる強化を徹底するなど、事業バリューチェーンの再構築を図っています。加えて、IP軸と事業プラットフォーム軸の双方向から収益の最大化を図る事業モデルへと進化させる取り組みを推進しています。

中期経営計画達成に向けた、これまでの施策ならびに各種進捗は以下の通りです。

1. パチンコ・パチスロ事業プラットフォーム

- ▶ サミー(株)との遊技機の販売契約締結ならびに経営効率化に向けた(株)ロデオ株式の売却(2017年6月)
- ▶ ダイコク電機(株)グループであるダクセル(株)製遊技機の販売協力(2017年7月)
- ▶ (株)ニューギングループである(株)エキサイト製遊技機の開発・販売協力(2017年8月)

- ▶ (株)ユニバーサルエンターテインメントグループである(株)ミズホ製遊技機に関する相互販売体制合意および販売(2017年9月)
- ▶ 営業効率化に向けた支店(ショールーム)の新設準備(2017年4月)
- ▶ 開発子会社の完全子会社化(2017年7月)

2. クロスメディア事業プラットフォーム

① 映像領域

- ▶ 『ベルセルク』、『アトム ザ・ビギニング』、『ウルトラマンジード』など6つのIPのTV放送／劇場公開／映像配信を実施
- ▶ 放送・公開を予定する『BEATLESS』、『キリングバイツ』などのIPについて諸施策を推進
- ▶ 他社ゲームなどへのライセンス展開(2017年4月)
- ▶ 全国の「VR THEATER」にて『ウルトラマンゼロVR』や『ウルトラファイトVR』の上映開始(2017年10月)

② 出版・コミック領域

- ▶ 電子マンガ事業プラットフォームを展開する(株)ナンバーナインの株式取得(2017年9月)

③ ゲーム領域

- ▶ 海外版『タワー オブ プリンセス』の台湾・香港・マカオでの配信開始(2017年7月)
- ▶ 『AKB48 ステージファイター2 バトルフェスティバル』のサービス開始(2017年10月)
- ▶ 国内版『タワー オブ プリンセス』のサービス終了(2017年11月)

パチンコ・パチスロ領域



パチスロ バイオハザード
リベレーションズ

2017年7月発売
エンターライズ

©CAPCOM CO., LTD. ALL RIGHTS RESERVED.



ぱちスロ ウルトラセブン

2017年9月発売
OK!!

©円谷プロ ©OK!!

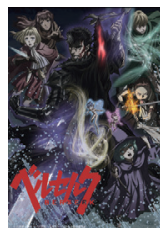
映像領域



アトム ザ・ビギニング

2017年4月TV放送
Amazonプライム・ビデオ
にて配信中

©手塚プロダクション・ゆうきまさみ・
カサハラテツロー・HERO'S/
アトム ザ・ビギニング製作委員会



ベルセルク

2017年4月TV放送
dアニメストアなどで配信中
ゲームコラボ活性化

©三浦建太郎(スタジオ我画)・白泉社/
ベルセルク製作委員会



④ 新事業プラットフォームなど

▶ トレーディングカードゲームへのIPの提供を発表
(2017年11月)

直轄組織として設置(2017年4月)

▶ 財務基盤の安定化に向け、土地などの遊休資産を売却(2017年4月)

▶ 社内システムのクラウド化など、システムの再構築による経営効率化を推進(2017年7月)

3. 経営基盤の整備・強化など

① ガバナンス体制強化

▶ 市場環境変化に迅速に対応できる経営体制構築および取締役の経営責任明確化に向け、取締役の任期を2年から1年に短縮(2017年6月)

当社グループは、さらなる飛躍を成し遂げるため、経営陣はじめグループ従業員一丸となり、皆様からのご期待に応えるべく今後とも精進してまいります。引き続き、ご指導ご鞭撻を賜りますよう、衷心よりお願い申し上げます。

② 経営効率化

▶ IP軸の管理機能強化に向け、グループ全体のIPを統合的にマネジメントする「IPマーケティング室」を社長

フィールズグループのCSR

当社は、「すべての人に最高の余暇を」という企業理念のもと、人々に感動や興奮をもたらすエンタテインメントの創造に挑戦しています。事業を通じてより豊かな社会の実現に貢献することが、企業の社会的責任(CSR)を果たすことであると自覚し、当社グループ全体で「事業活動を通じた社会貢献」を推進しています。



この活動の一環である「ウルトラマン基金」が2017年で活動7年目を迎えました。これを機に、日本中の子どもたちへ勇気と希望を届けるため、全国にあるおよそ600の児童養護施設を対象に、ウルトラマンとともに訪問するヒーローキャラバン「ウルトラドリームプロジェクト」を開始しました。これらの活動が、子どもたちの夢や希望を描く機会となり、そして新たな時代を力強く切り拓き成長していくことを願って、これからも継続的な支援活動に取り組んでいきます。



「ウルトラマン基金」公式サイト <http://www.ultraman-kikin.jp/>



域

ゲーム領域

新技術領域



将国のアルタイル

2017年7月TV放送
Amazonプライム・ビデオ
にて配信中

© カトコトノ・講談社/
将国のアルタイル製作委員会



ウルトラマンジード

2017年7月TV放送
Amazonプライム・ビデオ
などで配信中

© 円谷プロ
© ウルトラマンジード製作委員会・テレビ東京



AKB48 ステージファイター2
バトルフェスティバル

2017年10月配信開始

© AKS © GREE,Inc.
© Pokelabo,Inc.



ウルトラマンゼロVR/
ウルトラファイトVR

2017年10月公開
全国の「VR THEATER」
にて上映中

© 円谷プロ
© ウルトラマンゼロVR製作委員会

6-Year Summary 主要財務指標6年サマリー

科目	2013年3月期		2014年3月期		2015年3月期		2016年3月期	
	上半期	通期	上半期	通期	上半期	通期	上半期	通期
経営成績 (百万円) :								
売上高	29,118	108,141	36,385	114,904	20,341	99,554	50,255	94,476
売上総利益	8,824	33,279	13,648	33,812	6,920	28,468	13,848	25,480
売上総利益率 (%)	30.3	30.8	37.5	29.4	34.0	28.6	27.6	27.0
販売費及び一般管理費	10,684	22,964	11,471	24,020	10,998	23,707	11,964	24,069
販売費及び一般管理費率 (%)	36.7	21.2	31.5	20.9	54.0	23.8	23.8	25.5
営業利益又は営業損失 (△)	△1,859	10,314	2,176	9,791	△4,077	4,743	1,884	1,411
営業利益率 (%)	—	9.5	6.0	8.5	—	4.8	3.8	1.5
経常利益又は経常損失 (△)	△1,738	10,268	2,144	9,765	△4,072	5,491	1,930	1,380
経常利益率 (%)	—	9.5	5.9	8.5	—	5.5	3.8	1.5
親会社株主に帰属する 四半期 (当期) 純利益又は純損失 (△)	△980	4,720	1,434	5,370	△2,509	3,018	706	118
親会社株主に帰属する 四半期 (当期) 純利益率 (%)	—	4.4	3.9	4.7	—	3.0	1.4	0.1
財政状態 (百万円) :								
総資産	63,997	106,628	83,774	104,869	70,408	110,316	91,272	92,478
純資産	49,352	55,098	56,106	58,753	55,014	60,246	59,781	58,291
自己資本	48,942	54,559	55,802	58,279	54,504	59,492	58,919	57,304
有利子負債	1,386	1,052	550	743	402	4,065	6,778	11,423
キャッシュ・フロー (百万円) :								
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,070	13,570	△4,554	16,322	△11,111	△9,086	12,052	13,353
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,625	△6,263	△1,650	△8,018	△1,092	△6,297	△1,444	△2,191
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,111	△2,277	△1,387	△2,018	△1,200	1,624	1,415	5,214
フリー・キャッシュ・フロー	△1,555	7,307	△6,205	8,303	△12,204	△15,384	10,607	11,162
1株当たりデータ* (円) :								
四半期 (当期) 純利益又は純損失 (△)	△29.54	142.27	43.22	161.83	△75.63	90.97	21.28	3.58
純資産	1,474.90	1,644.15	1,681.62	1,756.27	1,642.51	1,792.83	1,775.56	1,726.88
配当金	中間25	期末25	中間25	期末25	中間25	期末35	中間25	期末25
主要経営指標 (%) :								
ROE (自己資本当期純利益率)	—	8.9	—	9.5	—	5.1	—	0.2
ROA (総資産経常利益率)	—	10.3	—	9.2	—	5.1	—	1.4
自己資本比率	76.5	51.2	66.6	55.6	77.4	53.9	64.6	62.0
配当性向	—	35.1	—	30.9	—	66.0	—	1,398.1

*2012年10月1日付で、普通株式1株を100株に分割しており、過去に遡って当該株式分割を考慮した額を掲載しています。

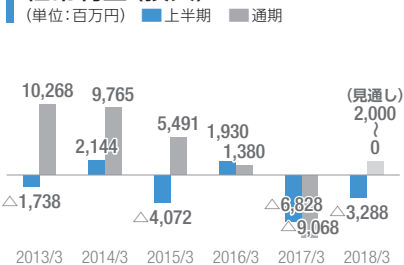
*2016年3月期より「関連会社より收受する業務受託料等」の計上箇所を変更しました。それに伴い2015年3月期の「営業利益」は2016年3月期以降の決算短信および有価証券報告書

2017年3月期		2018年3月期	
上半期	通期	上半期	通期(見通し)
26,659	76,668	35,213	82,000 ~85,000
5,186	17,641	6,944	—
19.5	23.0	19.7	—
11,461	23,015	9,724	—
43.0	30.0	27.6	—
△6,275	△5,374	△2,780	1,000 ~2,000
—	—	—	1.2~2.4
△6,828	△9,068	△3,288	0~2,000
—	—	—	0~2.4
△4,856	△12,483	△3,289	0~1,000
—	—	—	0~1.2
80,526	80,397	73,702	—
51,709	43,227	38,426	—
51,011	42,225	37,924	—
14,033	15,489	16,918	—
△7,575	△7,319	△912	—
△1,511	△3,927	4,905	—
1,522	2,136	△419	—
△9,087	△11,246	3,993	—
△146.34	△376.19	△99.13	0~30.14
1,537.26	1,272.48	1,142.85	—
中間25	期末25	中間25	期末25
—	△25.1	—	—
—	△10.5	—	—
63.3	52.5	51.5	—
—	—	—	—

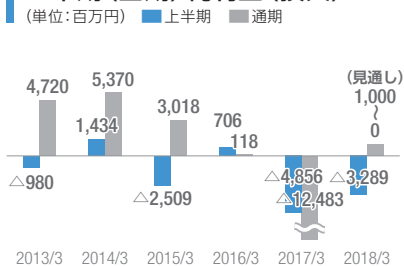
売上高



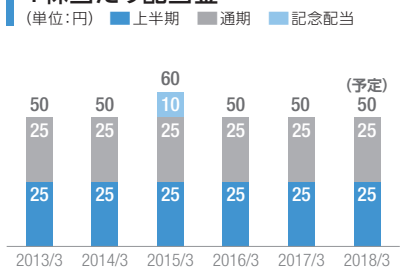
経常利益(損失)



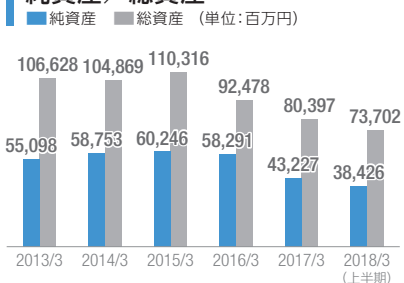
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益(損失)



1株当たり配当金*



純資産/総資産



POINT

売上高

売上高は、前年同期比8,554百万円増の35,213百万円となりました。主な要因は、遊技機販売全体で9.9万台(前年同期比2.6万台増)を計上したことによるものです。パチンコ機は、新規タイトルの販売を行わなかったため、3.0万台(同1.4万台減)にとどまったものの、パチスロ機は15機種、6.9万台(同4.0万台増)を計上しています。

経常利益(損失)

経常損失は、同3,540百万円改善し、3,288百万円となりました。

これは、遊技機の計上台数が前年同期を上回ったことに加え、継続的に取り組んでいる経営効率化により販管費が減少したことによるものです。

親会社株主に帰属する 四半期純利益(損失)

親会社株主に帰属する四半期純損失は、同1,566百万円改善し、3,289百万円となりました。

これは、前述の理由に加え、遊休資産(土地)の売却等による特別利益557百万円を計上し、また特別損失として263百万円を計上したことによるものです。

総資産

総資産は、73,702百万円と前連結会計年度末比6,695百万円の減少となりました。

これは主に、仕入債務および利益剰余金の減少などによるものです。

純資産

純資産は、38,426百万円と前連結会計年度末比4,800百万円の減少となりました。これは主に、利益剰余金の減少によるものです。

会社概要

商号	フィールズ株式会社 (英文:FIELDS CORPORATION)
企業理念	「すべての人に最高の余暇を」
設立	1988年6月
本社所在地	〒150-0036 東京都渋谷区南平台町16番17号 渋谷ガーデンタワー
資本金	7,948百万円
従業員数	1,606名(連結)

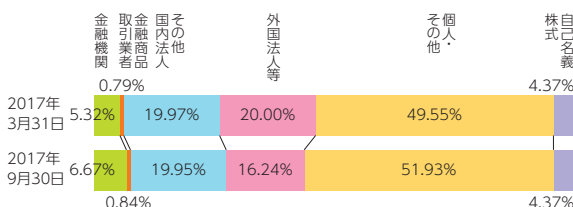
役員

代表取締役会長	山本 英俊
代表取締役社長	繁松 徹也
取締役副社長	秋山 清晴
専務取締役(PS事業統括本部長)	吉田 永
常務取締役	栗原 正和
常務取締役	藤井 晶
常務取締役	小澤 謙一
取締役(計画管理本部長)	山中 裕之
取締役	藤島 輝男
取締役(クロスメディア事業統括本部長)	鎌形 英一
社外取締役	糸井 重里
社外監査役 常勤	池澤 憲一
社外監査役	古田 善香
社外監査役	中元 紘一郎

株式状況

発行可能株式総数	138,800,000株
発行済株式総数	34,700,000株
自己名義株式	1,516,300株
株主数	8,812名

所有者別株式分布状況



大株主

株主名	所有株式数 (株)	持株比率 (%)
山本 英俊	8,875,000	25.58
(株)SANKYO	4,975,000	14.34
山本 剛史	3,612,800	10.41
NORTHERN TRUST CO.(AVFC) RE NVI01	1,704,400	4.91
(有)ミント	1,600,000	4.61
NORTHERN TRUST CO.(AVFC) RE IEDU UCITS CLIENTS NON LENDING 15 PCT TREATY ACCOUNT	719,800	2.07
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505019	615,600	1.77
NORTHERN TRUST CO.(AVFC) SUB A/C NON TREATY	493,100	1.42
GOLDMAN, SACHS & CO.REG	480,200	1.38
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	468,000	1.35

(注)当社保有の自己名義株式は大株主(上位10名)から除いています。

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	定時株主総会・期末配当 毎年3月31日 中間配当 毎年9月30日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行(株)
(郵便物送付先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行(株) 証券代行部

(電話照会先)	☎0120-782-031 取次事務は三井住友信託銀行(株)の本支店で行っております。(コンサルティングオフィス・コンサルプラザを除く)
上場証券取引所	東京証券取引所市場第一部 証券コード:2767
公告方法	電子公告 URL http://www.fields.biz/ir/ (事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。)

- 住所変更のお申し出先について 株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行(株)にお申し出ください。
- 未払配当金の支払いについて 株主名簿管理人である三井住友信託銀行(株)にお申し出ください。
- 「配当金計算書」について 配当金支払いの際送付している「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねています。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用頂くことができます。
※確定申告をなされる株主様は、大切に保管ください。

見直しに関する注意事項 本冊子に記載されている業績見直しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績などは様々な要因により大きく異なる可能性があることをご承知おきください。なお、本冊子に記載されている商品・サービス名は、各社の商標又は登録商標となります。